

【授業の概要】

音楽の持つ様々な要素を、身体全身を使った動きで体験し、音楽力・表現力を備え、理解を高める。

自然や、日常生活の事象に眼を向けながら、集団で協調し合い表現を研究することで、それぞれの異なる感覚を受け入れながら、自分なりの表現ができるようにする。

【授業要旨】

回数	題 目	授 業 内 容
第 1 回	オリエンテーション 表現の方法と必要性	幼児期における心身の発達と表現の特徴をふまえた上で、保育者の役割を考えた時に、保育者自身の柔軟な感性や表現力の豊かさや広がり求められることを認識させる。
第 2 回	コミュニケーション 基礎的な動き 即時反応	周囲の人とかかわりを持ちながら緊張及び弛緩した状態の筋肉の感覚を知覚させ、その時の心の状態を感じ取らせる。身体活動（手拍子、歩く、走る、ジャンプ等）及び声、歌唱において与えられた刺激に対して即座に反応できるようにする。
第 3 回	拍と拍子	様々なテンポの中に安定して拍が保持できるようにする。 突然おこる強い刺激（アクセント）に、即座に反応できるようにすることを通して、緊張と弛緩の感覚を強くする。 アクセントを中心にしたまとまりから、2,3,4 の拍子の体験をする。童謡曲の拍子を調べ、その特徴を考える。
第 4 回	アクセント 2, 3, 4 拍子	
第 5 回	拍 基礎リズム リズムパターン	基礎リズム等のリズムを、空間の知覚を伴いながら、安定して表現できるようにする。
第 6 回		拍を感じながら、リズムの組み合わせ（リズムパターン）を様々な速さに乗って正確に打てるようにする。生活の中にあるリズムに言葉に乗せて体験し、ボイスアンサンブル等を通して表現としてまとめる。
第 7 回	弱起の曲 アウフタクト	上拍（アナクルーシス）の緊張感と、下拍（クルーシス・アクセント）の弛緩の状態を体験しながら、指揮法に関連づける。 童謡曲を取り上げ、弱起の曲であるかないかを考えさせる。
第 8 回	〔クレッシェンド デクレッシェンド アツチュレランド リタルダンド	だんだんに変化する速度や強さを、模倣表現を通して体験し、力や空間の使い方の変化を認識させる。更に、日常的に起こるその変化を、子どもの遊び（ゲーム）として創作する。
第 9 回	緊張と弛緩 速度と強弱（テンポとダイナミクス）	与えられた様々な速度や強弱に対し、適切な表現が取れるようにする。 [速いー弱いー小さい、遅いー強いー大きい]という自然な関係を力と空間の使い方を通して体験させる。自分自身で、テンポとダイナミクスを変えられるようにする。
第 10 回	6/8 拍子 拍：4 分音符と 符点 4 分音符のちが	4 分音符と符点 4 分音符の拍のちがいを比較体験し、符点 4 分音符を拍に持つ拍子の中でも 6/8 拍子を取り上げ、6/8 拍子と比較体験しながら特徴づける。
第 11 回	6/8 拍子のリズムパターン	6/8 拍子に出てくるリズムパターンを様々な速さに乗って正確に表現できるようにする。6/8 拍子の童謡曲を調べ、その特徴を認識させる。
第 12 回	簡易楽器 簡易楽器の基礎的な奏法	打楽器を中心にその奏法を体験しながら、童謡曲に合わせて簡単な合奏を行う。
第 13 回	音楽あそび	手あそび歌、童謡曲などを表情豊かに、動きを伴って表現できるようにする。 音楽を使用した集団あそびを体験し、留意点などを考える。
第 14 回	手あそび 集団あそび	
第 15 回	まとめと評価	本教科の総まとめと理解度の確認

【評価の方法】 平常の取り組み及び態度、提出物、授業内発表・定期試験、を総合的に評価する。

【テキスト】 うたとあそび（鹿児島市私立幼稚園協会）

幼児のための音楽教育（教育芸術社）

一人一人を大切に「ユニバーサルデザインの音楽表現」（萌文書林）

新たなのしい子どものうたあそび（同文書院）